

# 自転車 の基礎情報



平成29(2017)年12月20日 No. 25

## シティ車 年末の三つのお手入れと安全利用の確認

年末が近くなってくると、大掃除など年末特有の行事が目白押しになり、慌たしさが増してきます。そして、知らず知らずのうちにその慌たしい雰囲気巻き込まれてしまいがちになります。

こうした状況の中、時間がない年末でも行うことができるシティ車の三つのお手入れと安全利用の確認についてご説明します。

まずはシティ車の三つのお手入れについてです。

一つ目はパンクを防ぐ効果があるので、タイヤに空気を適正に入れることです。二つ目は音鳴りやサビを防止するためにチェーンに注油すること。三つ目はいつも乗っているシティ車を乾いた布で拭き上げることです。シティ車を拭き上げるだけでも、いつもとは違うピカピカ感ができます。注意していただきたいことは、タイヤには空気を入れすぎないこと、チェーンへの注油には必ず専用の自転車オイルを使用し、ブレーキの制動面など油をさしてはいけないところには注油しないこと、シティ車を拭き上げた際に、パンク、故障、クランクやフレームにひび割れを発見した時にはシティ車には乗らずに、必ず自転車販売店に相談すること、になります。



ここまでの作業を行うと、シティ車のタイヤの摩耗、ブレーキワイヤーのサビやほつれなどの状態も把握できます。ところで、三つのお手入れさえも行う暇がないという方は、タイヤに空気を入れることだけは行っていただけたらと思います。もちろん、取扱説明書に記載されている日常点検やお手入れなどを全て行っていただきたいのですが、全くできないという方は自転車販売店に一度相談をしてみてください。

メーカーの取扱説明書には日常点検方法、お手入れ方法なども記載されています。必ず取扱説明書を読んでから作業に取り掛かるようにしましょう。

次にシティ車の安全利用の確認です。

自転車安全利用五則を守ることはもちろんですが、今一度ルールやマナーについて確認してください。信号を守ることは基本中の基本ですが、その他に、「止まれ」の標識では必ず一時停止する、左折するトラックの巻き込み事故には気を付ける、といったことを怠ると大きな事故につながる可能性があります。危険を察知して事故を未然に防いでいただきたいと思います。急がず慌てずゆっくりとした速度で、シティ車に乗ることが大切です。来年もシティ車を楽しく安全にご利用ください。

次号は、平成30年2月20日に発行を予定しています。



<発行>

一般財団法人自転車産業振興協会

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル4階

電話：03-6409-6922 FAX：03-6409-6868 <http://www.jbpi.or.jp>